

製品名: MEL-1B-R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13813**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	MTNR1B
別名	MTNR1B; Melatonin receptor type 1B; Mel-1B-R; Mel1b receptor
遺伝子 ID	4544.0
SwissProt ID	P49286
免疫原	抗血清はヒト MTR1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

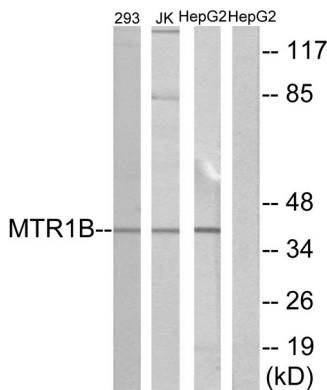
この遺伝子は、松果体から分泌される主要ホルモンであるメラトニンに対する受容体の 2 つの高親和性形態のうちの 1 つをコードしています。この遺伝子産物は、G タンパク質共役型の 7 回膜貫通型受容体である膜貫通タンパク質です。主に網膜と脳に存在します

が、検出には RT-PCR が必要です。網膜における光依存性機能に関与していると考えられており、メラトニンの神経生物学的作用にも関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: メラトニンに対する高親和性受容体。メラトニンの生殖作用および概日リズム作用を媒介すると考えられます。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性を阻害する百日咳毒素感受性 G タンパク質によって媒介されます。、オンライン情報:メラトニン受容体エントリ、類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、組織特異性:網膜で発現し、脳と海馬ではそれほど発現しません。、

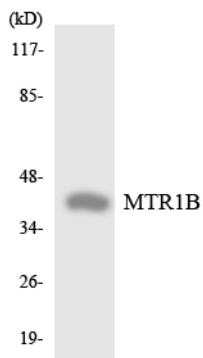
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

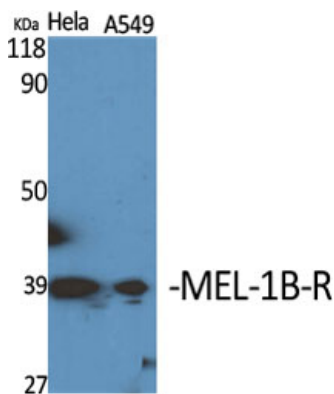
画像データ



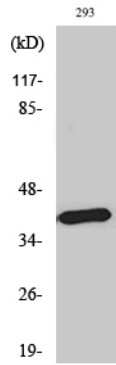
MTR1B 抗体を用いた 293 細胞、Jurkat 細胞、HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MTR1B 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MEL-1B-R ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



MEL-1B-R ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析